

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立東中学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

○「生徒と共に創る授業」として学習図書委員会との連携

学習図書委員会の活動

・「Let's 授業磨き」

「授業磨き」の意識を高め、より良い授業にする活動。生徒は以下の4項目を意識して授業に参加し、毎時間の教科担当の評価を帰りの学活で総括し、翌日の「授業磨き」に生かす。月末に、学級ごとに1カ月の振り返りをし、翌月の重点目標を決めて、各学級で取り組む。

A...2分前着席・30秒間黙想・大きな声であいさつ

K...忘れ物ゼロ・正しい姿勢

N...意思表示・反応・挙手発言

S...クエスチョンタイム・話し合い・教え合い・課題解決

・「Question Time」

2分前着席の後、班内で前時や単元の学習内容について出題し合うことで、前時までの復習をして、本時の授業に臨む。

・「生徒と共に創る授業評価アンケート」の分析

アンケートの生徒自身に関する項目の結果を分析することで、自分やクラスの授業への取り組みを見直し、学習図書委員会として課題の改善を図るための活動を考え、実施する。

Let's 授業磨き

A 2分前着席、30秒間黙想
大きな声であいさつ

K 忘れ物ゼロ、正しい姿勢

N 意思表示・反応、挙手発言

S クエスチョンタイム
話し合い・教え合い、課題解決

「Let's 授業磨き」強化習慣の取組結果を集計・分析し、翌月の重点目標・取組を決める。



授業の様子

N: 挙手発言

S: 話し合い・教え合い・課題解決




取組の具体②

○生徒との校内研究テーマ・「めざす姿」の共有や日常化

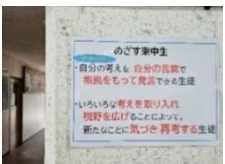
生徒との共有・日常化

・全校集会で校内研究について生徒に説明し、校内での掲示や研究の取り組みを教科だけでなくあらゆる活動に取り入れることで、生徒と目的や「めざす姿」、取り組み内容を共有し、生徒も日常的・主体的に取り組むための意識付けをする。

・各種学力調査の結果と分析、今までの学習活動の成果や改善に向けた今後の取り組みを、全校集会や各教科で生徒と共有することで、生徒自身が自分たちの美点や弱点を客観的に把握し、主体的に学習活動に取り組むための意識付けをする。

学習図書委員会の「根拠をもって表現しよう週間」の実施

・本校の「めざす姿」である「授業やあらゆる場面で、自分の考えを自分の言葉で根拠をもって表現できる生徒」の実現や確認のために、学期に1回の強化週間を設け、授業やあらゆる場面で根拠をもって自分の言葉で表現できたかを振り返る。また、その振り返りを教員が確認することで、教員も根拠をもって表現する場の設定が単元内で適切であったか、内容は適切であったかを確認し、改善に生かす。



「めざす生徒の姿」を学校中に掲示



集会で「目指す授業」を全校生徒と確認



学習図書委員の活動
「根拠をもって表現しよう週間」